

農産物付加価値向上セミナー 売り出し方などを研修

5月29日午前11時より、洞爺総合センター大研修室で、北海道農政部主催による「農産物付加価値向上セミナー(胆振)」が開催されました。

セミナーでは、北海道名誉フードアドバイザーの小泉武夫先生を招き、(有)ピュアフーズと(有)羊蹄食品など5社の代表者が、商品化のポイントや今後の展開方向など熱のこもった事例を発表。

続いて小泉先生が商品を試食し、売り出し方や味に対する感想など具体的なアドバイスをし



講演を行う小泉武夫先生

午後からは、「農産物付加価値向上の取組について」小泉先生の講演会が行われました。

「あぶた」ホタテコロケ提供 給食で児童らに大人気

企業組合(福島浩二代表理事)「あぶた」が、町の特産品のホタテを使ったコロケを、子供たちにも食べて欲しいと町に500個提供。5月27日の給食に登場すると、人気を集めました。

同コロケは、ホタテの稚貝をジャガイモに練りこんだもので、虻田地区の小中学校4校に「カレーラーメンの日」の副食として出されました。

児童らは、「おいしいね」といいながら大きな口をあけてコロケをたいらげっていました。



口いっぱいコロケをほおぼる児童ら

○まちのわだい○

小さな清掃活動も地球保全の活動につながっている「クリーン洞爺」実施

6月20日洞爺地区の小、中、高校生による清掃活動「クリーン洞爺」が、洞爺湖畔などで行われ、参加した約180人の児童生徒らが、サミット開催の前に、町の環境整備に汗を流しました。

とうや小グラウンドで行われた開会式では、傳法満校長から「サミットも環境がテーマ。みなさんの小さな清掃活動も、地球を良くする活動につながっています」と挨拶。

高校生と中学生、小学生が9班に分かれ、地区内全域のゴミ



湖畔のゴミ拾いをする洞爺高校生

や空カンなどを拾い集めました。

町内の各中学生 自分の主張を堂々と披露

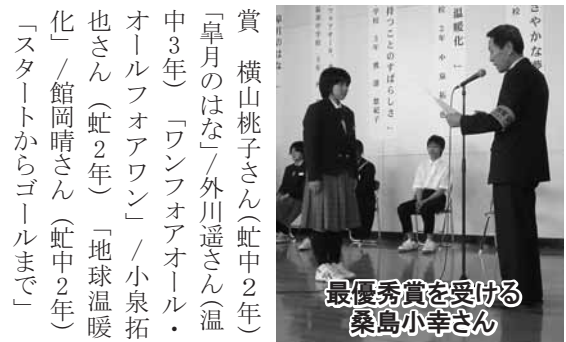
6月11日、「洞爺湖町少年の主張大会」(主催洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会)が、洞爺中学校で行われました。

町内各中学校から選ばれた7人が、次々と登壇し、自分の夢や部活動、環境について、それぞれの思いを主張しました。

審査の結果は次のとおり。

▼最優秀賞 桑島小幸さん(温中3年) 「私のささやかな夢」

▼優秀賞 渡部悠紀子さん(洞中3年) 「夢をもつことのすばらしさ」/佐藤美和さん(洞中2年) 「おもいを形に」▼優良



最優秀賞を受ける桑島小幸さん

賞 横山桃子さん(虻中2年) 「皐月のはな」/外川遥さん(温中3年) 「ワンフオアオール・オールフオアワン」/小泉拓也さん(虻2年) 「地球温暖化」/館岡晴さん(虻中2年) 「スタートからゴールまで」